

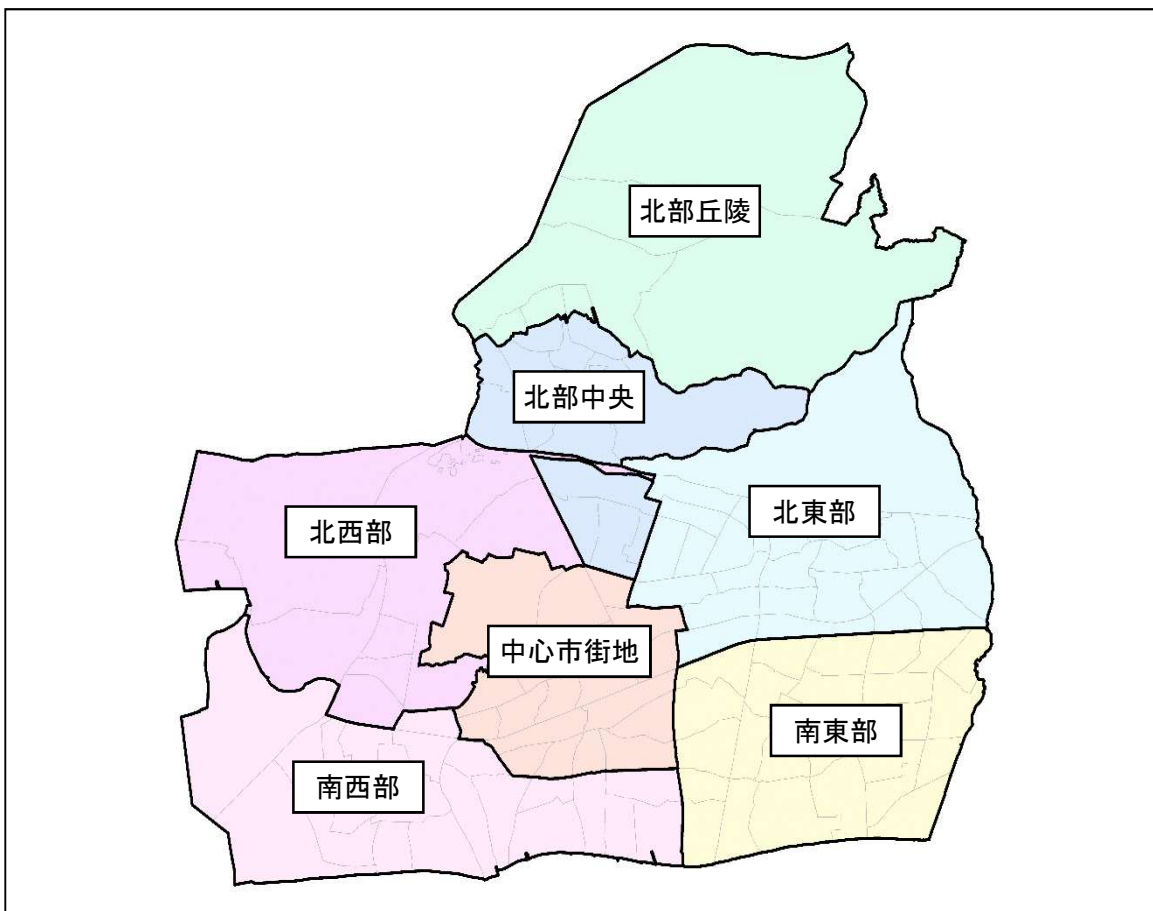
1. 調査目的

- ・ **移動実態**：外出目的別に移動実態（行き先、移動手段、時間帯、頻度等）を把握
- ・ **取組の認知度**：これまでの取組の認知度、公共交通利用への寄与を把握
- ・ **今後のニーズ**：重視する移動、具体のニーズ、公共交通の維持に向けた考えを把握
- ・ **地域別の意見を把握**：実態や意向について地域別・路線別に把握できるように配布数を設定

2. 地域、配布数の設定

- ・ **地域分類**：都市マスタープランの地域分類に沿って、市内を 7 地域に分類
- ・ **配布、回収目標**：配布部数は 3,150 部、回収 1,260 部（回収率 40% 想定）とする  
 ※各地域、64 歳以下と 65 歳以上で十分な回収の確保を目指す
- ・ **配布、回収方法**：郵送配布、郵送回収とします。

●市内 7 地域の位置



●各地域の人口数と配布、回収計画

地域	世帯数	人口数	配布部数	想定回収数
中心市街地	16,864	36,043	450	180
南東部	21,390	50,491	450	180
南西部	16,076	36,833	450	180
北東部	19,334	45,183	450	180
北西部	14,376	34,445	450	180
北部中央	12,393	28,051	450	180
北部丘陵	4,847	12,875	450	180
計	105,280	243,921	3,150	1,260

※人口数は令和4年7月時点

※地域は都市マスタープランの地域区分を参考に分割

※配布部数は各地域450部、合計3150票とする

●各地域の対応表

地区割	地区
中心市街地	茅ヶ崎、茅ヶ崎一丁目、茅ヶ崎二丁目、茅ヶ崎三丁目、本村一丁目、本村四丁目、元町、幸町、新栄町、十間坂一丁目、十間坂二丁目、十間坂三丁目、共恵一丁目、共恵二丁目、中海岸一丁目、東海岸北一丁目、東海岸北二丁目、東海岸北三丁目、矢畑
南東部	、若松町、東海岸北四丁目、東海岸北五丁目、東海岸南五丁目、東海岸南六丁目、浜竹一丁目、浜竹二丁目、浜竹三丁目、浜竹四丁目、出口町、ひびりが丘、旭が丘、美住町、松浪一丁目、松浪二丁目、常盤町、富士見町、平和町、松が丘一丁目、松が丘二丁目、菱沼海岸、白浜町、浜須賀、緑が浜、汐見台
南西部	南湖一丁目、南湖二丁目、南湖三丁目、南湖四丁目、南湖五丁目、南湖六丁目、南湖七丁目、中海岸二丁目、中海岸三丁目、中海岸四丁目、東海岸南一丁目、東海岸南二丁目、東海岸南三丁目、東海岸南四丁目、中島、松尾、柳島一丁目、柳島二丁目、柳島、柳島海岸、浜見平
北東部	本村二丁目、本村三丁目、本村五丁目、赤羽根、高田一丁目、高田二丁目、高田三丁目、高田四丁目、室田一丁目、室田二丁目、室田三丁目、小和田一丁目、小和田二丁目、小和田三丁目、菱沼一丁目、菱沼二丁目、菱沼三丁目、松林一丁目、松林二丁目、松林三丁目、小桜町、代官町、本宿町、赤松町
北西部	萩園、平太夫新田、西久保、円蔵、浜之郷、下町屋一丁目、下町屋二丁目、下町屋三丁目、今宿
北部中央	円蔵一丁目、円蔵二丁目、鶴が台、香川、香川一丁目、香川二丁目、香川三丁目、香川四丁目、香川五丁目、香川六丁目、香川七丁目、松風台、甘沼、高田五丁目、みずき四丁目
北部丘陵	みずき一丁目、みずき二丁目、みずき三丁目、行谷、芹沢、堤、下寺尾

3. 実施スケジュール

第2回交通会議（12月）：調査目的、配布回収数の確認、**調査項目について協議**

↓

調査内容、調査票の最終確認（**修正して確定**）

↓

**アンケート調査実施：12月末～1月に調査実施（配布、回収、集計分析）**

↓

第3回交通会議（2月ごろ予定）：回収状況、各項目の**結果報告、考察、協議**

#### 4. 調査項目

- ・調査票の項目は以下の通りです。

問1、問2 日常の移動状況	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平休別の移動実態について以下を把握</li> <li>・移動目的 ・移動先（施設、市区町村） ・移動手段</li> <li>・移動頻度 ・移動時間帯 ・駅までの交通手段</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の<b>地域別の移動実態を詳細に把握</b></li> <li>・個人属性と合わせ、<b>公共交通の利便性が高い地域とそうでない地域での移動手段の比較</b>を実施</li> </ul>
問3 交通手段別の 利用状況	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通、自動車、自転車の利用頻度</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>地域や年代、公共交通の利用環境別に頻度を比較</b></li> </ul>
問4、問5 これまでの 取組み認知度	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行や各種取組みについて、回答者の移動の利便性向上にどのように寄与したか</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>取組みに関する認知度</b>を把握するほか、<b>どのような取組みが移動の利便性向上に寄与</b>したか把握</li> </ul>
問6 今後の取組みに ついて	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅までの移動、市内移動の満足度</li> <li>・満足、不満に関する理由</li> <li>・駅までの移動と市内移動、どちらを重視するか</li> <li>・重視する移動をさらに良くするための求める内容</li> <li>・公共交通に対して持つ心理的障壁</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、<b>茅ヶ崎市が目指す方向性</b>（マイカーに頼らない移動環境の整備、公共交通に対する心理的障壁の改善）<b>に向けて、回答者の意向を把握</b></li> </ul>
問7～9	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスや路線バスの運行としてのあるべき姿</li> <li>・公共交通の維持に向けた行政や地域のかかわり方</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お住まいの地域や公共交通利用状況に応じて意見を整理し、<b>公共交通のニーズが高い地区を抽出</b></li> </ul>
問8 個人属性	把握項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町丁目 ・性別 ・年代 ・職業 ・世帯構成</li> <li>・自動車、免許保有有無</li> <li>・最寄りバス停までの徒歩距離</li> </ul>
	設定意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代や世帯構成、自動車や免許の保有状況、バス停までの距離を把握することで、<b>公共交通が利用可能な方か</b>を整理</li> </ul>

#### 5. 調査票内容

- ・次ページ以降に、上記調査項目を反映した調査票（案）を示します。

# 今後の地域公共交通のあり方に関するアンケート調査

## 【平日、休日の主な外出状況について】

問1. **平日の外出**についてお答えください。(当てはまるものに○をつけるか、( ) 内に記入)

主な 外出目的	1. 通勤・通学      2. 買い物 (食料品、日用品など)      3. 買い物 (食料品、日用品以外) 4. 余暇活動      5. 通院      6. その他の用事
外出先	1. 市内 →施設又は住所 ( ) 2. 市外 →市区町村名又は施設名 ( )
頻 度	1. 週5日    2. 週3~4日    3. 週1~2日    4. 月数日    5. 月1日程度
交通手段	1. 鉄道 →駅までの移動手段 (1. 徒歩    2. 自転車    3. バス    4. 自動車    5. その他 ) 2. 路線バス (神奈中、江ノ電バスなど)      3. コミュニティバスえぼし号 4. タクシー    5. 自動車 (自分で運転)    6. 自動車 (家族等の送迎) 7. 原付、二輪車      8. 自転車      9. 徒歩      10. その他 ※1. 鉄道 と選択した方は、駅までの移動手段もお答えください

問2. **休日の外出**についてお答えください。(当てはまるものに○をつけるか、( ) 内に記入)

主な 外出目的	1. 通勤・通学    2. 買い物 (食料品、日用品など)    3. 買い物 (食料品、日用品以外) 4. 余暇活動    5. 通院    6. その他の用事
外出先	1. 市内 →施設又は住所 ( ) 2. 市外 →市区町村名又は施設名 ( )
頻 度	1. 週2日    2. 週1日    3. 月数日    4. 月1日程度
交通手段	1. 鉄道 →駅までの移動手段 (1. 徒歩    2. 自転車    3. バス    4. 自動車    5. その他 ) 2. 路線バス (神奈中、江ノ電バスなど)      3. コミュニティバスえぼし号 4. タクシー    5. 自動車 (自分で運転)    6. 自動車 (家族等の送迎) 7. 原付、二輪車      8. 自転車      9. 徒歩      10. その他 ※1. 鉄道 と選択した方は、駅までの移動手段もお答えください

## 【交通手段別の利用状況について】

問3. 以下の交通手段の、現在の利用状況をお答えください。(それぞれ1つに○)

鉄 道	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない
路線バス	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない
えぼし号	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない
タクシー	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない
自動車	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない
自転車	1. 週4日以上    2. 週2~3日    3. 週1日程度    4. 月数日以下    5. 使っていない

→次ページ (問4) に続きます。

**【これまでの茅ヶ崎市の取組みについて】**

問4. これまで茅ヶ崎市では、市民の方の移動環境の向上に向け、以下のような取組みを実施してきました。それぞれの取組みについて、取組み内容をご存じだったか、ご自身の外出が便利になったか、お答えください。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○印をつけてください）

これまで茅ヶ崎市で進めてきた 移動環境の向上のための取組み	知っていた ⇒この取組みでご自身の 普段の外出は便利になったか		知らなかった
	便利になった	変わらない	
1) コミュニティバスえぼし号の運行 ※平成14年度より運行を開始、現在も継続	1	2	3
2) 小出地区での「予約型乗合バス」の運行 ※平成25年度より運行を開始、現在も継続	1	2	3
3) サイクルアンドバスライド駐輪場の整備 ※バス停付近に駐輪場を整備	1	2	3
4) 茅ヶ崎市バス路線図の作成、配布	1	2	3
5) コミュニティバスえぼし号での交通系 ICカードの導入（Suica、PASMOなど）	1	2	3
6) コミュニティバスえぼし号でのバスの運行状況を 確認できる「バスロケーションシステム」の導入	1	2	3
7) 自転車走行環境の整備（自転車レーン、矢羽根など の路面標示の実施）	1	2	3
8) シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」導入	1	2	3

**【これまでの民間事業者の取組みについて】**

問5. 問4にあるような取組みのほか、民間事業者が中心となり、以下のような取組みも実施されてきました。これらについても、取組み内容をご存じだったか、ご自身の外出が便利になったか、お答えください。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○印をつけてください）

民間事業者が進めてきた 移動環境の向上のための取組み	知っていた ⇒この取組みでご自身の 普段の外出は便利になったか		知らなかった
	便利になった	変わらない	
1) 民間路線バスでのバスの運行状況を確認 できる「バスロケーションシステム」の導入	1	2	3
2) 出発駅から到着駅への路線・乗換情報の検索 （乗換案内等の検索アプリやHP）	1	2	3
3) 出発地から目的地への経路の検索 （Google Map等の検索アプリやHP）	1	2	3
4) タクシーの予約・配車アプリ （スマートフォン等でタクシーが呼べるアプリ）	1	2	3

→次ページ（問6）に続きます。

**問 6. 皆様の移動の利便性の向上に向けた今後の取組みについて**

市では今後、皆様がマイカーを使わずとも移動しやすくなるよう、お住まいの地域から茅ヶ崎駅をはじめとする鉄道駅までの移動がスピーディにできることと、市内から市内への移動が便利にできるようにしていきたいと考えています。皆様の移動しやすさの向上の観点から、以下の設問にご回答ください。

問 6-1. ご自身の普段の「鉄道駅までの移動」と「それ以外の市内移動」について、**マイカーを使わない場合**、利用可能な交通手段やサービス状況を踏まえ、これらの移動について満足しているか、5段階でお答えください。

	満足度				
	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
1) 鉄道駅までの移動	1	2	3	4	5
2) その他の市内移動	1	2	3	4	5

問 6-2. 問 6-1 の回答で「不満」、「やや不満」を選択された方は、以下の選択肢の中でその理由として当てはまるものがあれば、いくつでも選択してください。

- |                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. バスの時刻がわからない      2. バスの運行状況、正確な時刻に到着するかわからない<br>3. バスの路線・バス停の位置がわからない（行き先に行くにはどの路線に乗ればいいのか分からない）<br>4. 運賃がわからない      5. 支払い方法がわからない      6. タクシーの予約が面倒<br>7. 行き先で自転車を止められるかわからない      8. バスの遅れが日常的に発生している<br>9. その他（ _____ ） |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問 6-3. 今後、市が取組を実施する際にご自身の移動を踏まえ、**マイカーを使わない場合**、「鉄道駅まで移動のしやすさ」と「その他の市内から市内への移動の利便性向上」のどちらを重視しますか。

- |                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 鉄道駅までの移動のしやすさの向上（移動手段や運行本数の充実、遅れが発生しないなど）<br>2. その他の市内から市内への移動の利便性の向上（目的地まで移動手段が確保される） |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|

問 6-4. 問 6-3 で選択した内容について、ご自身の移動を考えると、移動しやすさの向上に向けて、どのような取組が実施されるとよいですか。以下の選択肢からお答えください。（当てはまるものを交通手段・インフラ整備からそれぞれ2つずつ計4つまで○）

交通手段	1. バス（すでにバス路線が自宅近くにある場合は運行ダイヤの充実） 2. デマンド型の乗合バス※1      3. 定額制タクシー※2      4. LRT（路面電車）※3 5. シェアサイクル      6. 鉄道のダイヤの充実      7. その他（ _____ ）
インフラ整備	1. 鉄道駅での他の交通手段からの乗り換えのしやすさ 2. バス・タクシー待ち空間の整備（屋根・ベンチなど） 3. バリアフリー設備の充実      4. 駐輪場の整備      5. 自転車走行空間の整備 6. 歩道の整備      7. その他（ _____ ）

※1 市内各所に停留所があり、予約することで指定する停留所から停留所まで移動できる乗合交通。運賃は1回あたり300円程度と仮定。

※2 定額で乗り放題のタクシー。月あたり5000円程度と仮定。

※3 定時定路線という点ではバスと共通だが、専用の軌道があるため渋滞の影響を受けにくい。

→次ページ（問7）に続きます。

**【今後の地域公共交通の維持、市民の関与について】**

問7. 路線バスやコミュニティバスえぼし号は、近年は利用者数の減少に応じた減便も行っており、路線によっては便数が少なくなっています。ご自身の生活でバスを利用するとお考えになった場合、今後のバス交通のあるべき姿についてもっとも近いものを選んでください。(1つに○)

- |                                                 |                       |
|-------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 現在のまま運行すべきである                                | 2. 運賃を高くしダイヤを増やすべきである |
| 3. 運行本数は減ってもよいので、もっと市内を網羅するように運行すべきである          |                       |
| 4. 運行ルートを集約しダイヤを増やすべきである (バスが来ないエリアはデマンド型交通が担う) |                       |
| 5. その他 ( _____ )                                |                       |

問8. 現在の市内の交通手段を維持する、あるいは新たな交通手段を考えていくうえで、行政や地域のかかり方はどうあるべきと思うか、お考えに最も近いものを選んでください。(1つに○)

※現在、市ではコミュニティバスえぼし号等の運行のために、年間1億円前後の財政支出を行っています。

- |                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 交通手段は交通事業者が自ら運行し、行政の財政負担は最小限にすべきである                          |
| 2. 市内の交通手段を維持するためには、行政はある程度の財政負担をすべきである                         |
| 3. 行政の財政負担の他に、市民ひとりひとりがより一層バスなどを利用する努力が必要である                    |
| 4. 行政の財政負担、市民のより一層の利用に加え、地域の皆様が中心となり、交通手段に関する問題を解決していく取組みが必要である |
| 5. その他の意見 ( _____ )                                             |

問9. ご自身の普段の生活での外出が、より便利に、快適になるために必要な取組みがあれば、記入ください。また、その他、市内の公共交通や移動に関してご意見があれば、具体的にご記入ください。

<記入欄>
-------

問10. 最後に、ご自身のお住まいや年代、職業、免許や自動車の保有等についてお答えください

お住まい (町字名)	茅ヶ崎市 (町丁目名: _____) 例: 茅ヶ崎市 (茅ヶ崎一丁目) ※番地の記載は不要です	
年 代	1. 15～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75～79歳 10. 80歳以上	
職 業	1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 主婦・主夫 4. 中学生・高校生 5. 大学生・専門学生 6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他	
自動車免許の 保有状況	1. 持っている ⇒ 返納予定 (1. 予定なし 2. 10年以内 3. 数年以内) 2. 持っていない、または既に返納している	
自動車の 保有状況	1. 自分専用の自動車がある 2. 家族共用の自動車がある 3. 持っていない	
自宅周辺で主に利用 するバス停の名前	バス停名	主に利用するバス の路線又は行先 路線名または駅名
自宅周辺で主に利用する バス停までの徒歩時間	1. 徒歩1分以内 2. 徒歩3分以内 3. 徒歩5分以内 4. 徒歩10分以内 5. 徒歩10分以上 6. わからない	

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました**